



第42回全国実業団個人選手権

8月29・30日 / しょうざんボウル・MKボウル上賀茂

シニア男子は混戦を制し 真淵康夫選手が初優勝



一般男子の部優勝の越後選手



女子の部優勝の林田選手



シニア男子の部優勝の真淵選手

平成27年度『第42回全国実業団個人選手権大会』が、8月29、30の両日、京都市・北区のしょうざんボウル(一般男子、女子)

とMKボウル上賀茂(シニア男子)の2会場で行われ、313選手が参加して熱戦を繰り広げた。予選9G、決勝3Gの12Gト

タルで争われたが、一般男子の部は、予選2回戦を終わって4位につけていた越後拓真選手(名古屋・大同特殊鋼)が、3回戦で

814を打って、一気にトップを奪った。2位には小谷敏之選手(太田・富士重工業)が46ピン差で続いていたが、その小谷選手ら上位選手が決勝で伸び悩むなか、越後選手は755を打って後続を突き放し、トータル2901で初優勝を飾った。予選を4位の西山純平選手(河崎・U工房)が決勝で673を打って2728で2位に入り、西山選手から36ピン差で橘達也選手(明石・明石フタバボウル)が3位に続いた。

女子の部は、予選1回戦を747の好スタートを切った桶谷和子選手(岸和田・野上シェル中子製作所)が2046の1位で決勝に進んだ。その桶谷選手は決勝を642とまとめたものの、桶谷選手から32ピン差の4位で決勝進

出の林田尚恵選手(出雲・TOPDIE)が707を打って逆転、トータル2721で3年ぶり2度目の優勝を飾った。2位には、737を打った酒井まゆみ選手(広島・荒川技建)が2702で入り、桶谷選手は2688で3位にとどまった。

シニア男子の部は、予選3回戦で782を打った榎和生選手(京都・KDA)が2046の1位で決勝に進出。その榎選手に予選3位の高橋浩一選手(札幌・札幌市役所)、4位の真淵康雄選手(神戸・伊藤育興産)を加えた3名が激しい優勝争いを展開したが、決勝で742を打った真淵選手がトータル2865で逆転優勝、19ピン差の2位に高橋選手、さらに11ピン差の3位に榎選手が入った。